

令和7年度「施政方針」をキリトル

今月の表紙



令和7年度当初予算に計上した主な事業をアイコンで表現し、円形に組み合わせたデザイン。

写真ではなく、イラストで村政運営方針を伝える表紙にチャレンジしました。

第6次総合計画に代わる新たな計画「まちづくりの羅針盤」がスタート



令和7年度から始まる新たな計画「まちづくりの羅針盤」は、「ミッション・ビジョン・バリューの考え方を取り入れる」という新たな発想と、「簡素で分かりやすく、「柔軟」な計画とする」という目標を踏まえて策定しました。

「ミッション・ビジョン・バリュー」とは、主に民間企業などで取り入れられている考え方で、村が実現したい目標や方向性などを分かりやすく表現した経営方針です。施策の重点化を図り、4つのテーマ【人口減少対策】【新たな基盤整備】【DXの推進】【安全・安心の確保】に基づくビジョンを設定し、村民の「幸福度の向上」を目指します。

また、「人口ビジョン」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」も改定し、2045～2050年の目標として「3万6,000人」の人口規模が維持できるよう、4つの基本目標【仕事をつくる】【人の流れをつくる】【結婚・出産・子育ての希望をかなえる】【新たなにぎわいを生み出す魅力的な地域をつくる】の達成に向けた施策を推進します。



施政方針

まちづくりの
羅針盤



人口ビジョン
総合戦略



2

子育て支援策の強化と こども・わかもの政策の推進



最大の課題は人口減少対策です。その重点的な政策として、子育て支援策のさらなる強化が必要となります。特に、就学前の子を持つ共働き世帯にとって、保育所の整備は緊急性が高いことから、関係機関と調整しながら受け皿整備に取り組むとともに、経済的な支援を拡充していきます。

また、「こども・わかもの」政策を新たな柱として位置付け、時代が大きく変化する中で、若者が将来に夢や希望を持てる社会が実現できるよう、若者を応援する環境を整えます。

4

村発足70周年記念事業の展開



村は、3月31日に発足70周年を迎えました。70周年という節目を村全体でお祝いするとともに、これまで先人たちが築いてきた歴史を振り返り、新たな村政進展への契機とするため、各種記念事業を展開していきます。

村発足70周年のメインイヤーとなる令和7年度は、記念式典などを村の未来を担う若者に参画してもらいながら、住民の皆さんの記憶に残り、村の魅力の再発見や郷土への誇りと愛着心を高める機会にしていきます。

3

窓口改革とオフィス改革の推進



少子高齢化や核家族化、情報技術の進展など、社会を取り巻く状況が大きく変容している中で、役場庁舎も、住民の皆さんが快適に滞在でき、対話や交流が生まれる場所に変わらなければなりません。

また、職員が働きやすい環境を整え、住民の皆さんへの向き合い方や行政サービスの質も高めていく必要があります。令和7～9年の3年間をかけて、約30年ぶりに庁舎を再整備し、窓口サービスと庁舎の利便性向上、職員の執務環境の改善を一体的に進めていきます。

5

原子力政策



国は、第7次エネルギー基本計画において、国民負担の抑制を図りながら再生可能エネルギーを最大限導入することや、原子力発電については、安全性の確保を大前提に、必要な規模を持続的に活用する考えを示しました。次世代革新炉の研究開発などにも言及しており、立地自治体として注視していきます。

住民の皆さんには、原子力災害発生時に備え、住民避難計画パンフレットも活用し、防災施設や地区ごとに異なる初動を把握していたことが重要です。村としては、訓練等を通じて避難行動の実効性向上に取り組めます。

6 令和7年度の重点施策

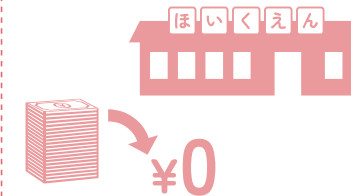
「まちづくりの羅針盤」に基づき、令和7年度当初予算に計上した
主な事業・取り組みの一部を6つの分野に分けて紹介します。



▲実施計画

① 人口減少対策

保育料の完全無償化



令和6年度から実施している第2子以降の保育料無償化を拡充し、第1子の保育料も無償化します。

在宅育児手当の拡充



第2子以降のこどもを在宅で養育する保護者に支給している手当て(月額1万円)の対象児童を、第1子まで拡充します。

② 新たな基盤整備

村松地区活性化の推進

国道245号の4車線化を村松地区の活性化に結び付けるため、阿漕ヶ浦周辺を一体的に整備する基本計画を策定します。



コミュニティセンターバリアフリー化の推進



2階建てのコミュニティセンター(石神・村松・白方)にエレベーターを整備するため、設計に着手します。

AI配車システムを活用したデイサービス共同送迎



地域の移動手段の確保につなげるため、デイサービス利用者の送迎をタクシー事業者へ委託する実証事業に取り組みます。

③ DXの推進

年間を通じたスマホの相談窓口



高齢者に寄り添ったデジタルデバйд対策などを積極的に推進するため、引き続き「スマホの相談窓口」を実施します。

庁舎窓口と執務エリアの一体的改革



庁舎の利便性や業務生産性を向上させるため、総合窓口の設置や執務エリアの改修に一体的に取り組みます。

住民サービスのデジタル化



オンライン手続きの拡充や、マイナンバーカードを利用した交付申請書の自動作成等に取り組みます。

④ 安全・安心の確保

雨水浸水被害対策の推進



台風やゲリラ豪雨などによる浸水被害を軽減するため、引き続き、村内各所の対策工事を進めています。

住宅防犯対策への補助



強盗被害や特殊詐欺被害など、手口が巧妙化・凶悪化する犯罪から村民の暮らしを守るため、防犯対策への補助を実施します。

校内フリースクールの拡充



不登校の生徒がより安心して学校生活を送れるよう、東海中・東海南中の校内に開設した校内フリースクールを毎日開室します。

⑤ 分野別計画の重点的取り組み

産業振興ビジョンに基づく新たな施策

人材の育成・集積やスタートアップ企業の誘致・支援に取り組みます。また、村の基幹産業も含めた企業間交流を促進します。



帯状疱疹ワクチンの接種費用助成

帯状疱疹の重症化予防や健康維持のため、定期接種の対象とならない50歳以上の方へワクチン接種費用を助成します。



⑥ 村発足70周年記念事業

村発足70周年記念式典の開催

7月6日(日)に「記念式典」を開催。70周年の節目の年を、村民の皆さんと喜び合うとともに、一定の功績を残した方々を表彰します。

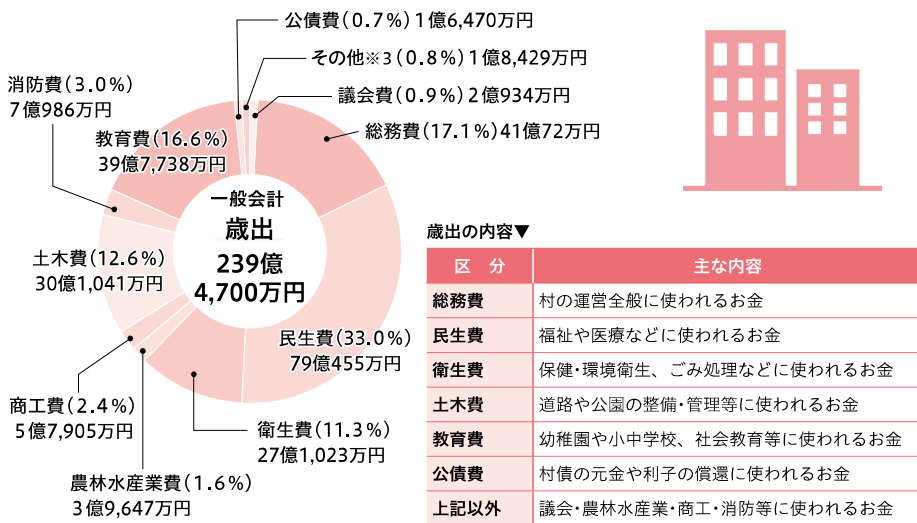
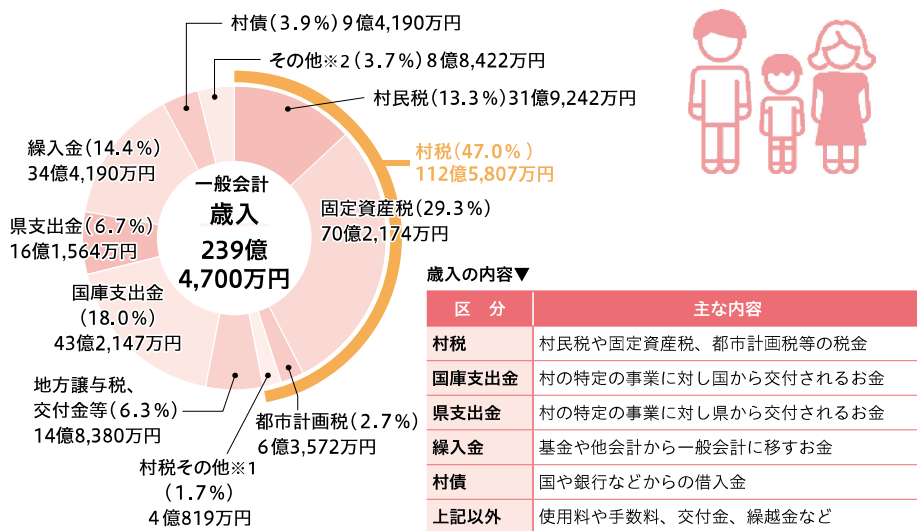


村発足70周年記念・関連事業

70周年記念給食の実施や東海まつり花火大会の拡充、プレミアム付き商品券の発行など、70周年記念を盛り上げる多様な事業を展開します。



一般会計予算の内訳は？



※1…軽自動車税、村たばこ税

※2…地方交付税、分担金および負担金、使用料および手数料、財産収入、寄附金、繰越金、諸収入

※3…災害復旧費、諸支出金、予備費

令和7年度

予算の概要を紹介します

村の1年間のお金の使い方をまとめた「令和7年度予算」が決まりました。村のお金がどのように使われるのか、その概要をお知らせします。なお、詳細は村公式ホームページ(右の二次元コードからアクセス可)でご覧いただけます。



※総額に合わせるため、数値を一部調整している項目があります。

【問い合わせ】財政経営課財政担当(☎282-1711 内線1334)

令和7年度の予算は？

【一般会計】 ※内訳は左ページをご覧ください。

当初予算 **239億4,700万円**

対前年度比 +23億1,300万円(+10.7%)

【特別会計】 **73億9,231万円**

対前年度比 +1億9,695万円(+2.7%)

会計名		予算額
国民健康保険事業会計		30億3,632万円
後期高齢者医療会計		6億7,708万円
介護保険事業会計	保険事業勘定	29億7,697万円
	介護サービス事業勘定	373万円
東海駅西土地区画整理事業会計		1,908万円
東海中央土地区画整理事業会計		6億7,828万円
那珂地方公平委員会会計		85万円

【企業会計】 **49億8,642万円**

対前年度比 +3億1,311円(+6.7%)

会計名	予算額
水道事業会計	18億1,776万円
病院事業会計	5億8,010万円
下水道事業会計	25億8,856万円

知っておきたい財政用語

【一般会計】 村の福祉や保健衛生、道路の建設、教育・文化振興、消防・防災など、住民サービスを行うための中心的な会計

【特別会計】 国民健康保険、介護保険、区画整理など、一般会計と区別が必要な会計

【企業会計】 上下水道や病院、利用料金などによる収入で運営している会計

令和7年度実施予定の主な大規模工事

- ✓ 文教地区(東海文化センター前)駐車場整備第2期工事…2億8,300万円
- ✓ 阿漕ヶ浦公園整備工事……………2億2,088万円
- ✓ 清掃センター長寿命化工事……………2億483万円
- ✓ 総合福祉センター「絆」太陽光発電設備等整備工事……………1億7,880万円

